

神楽を主題に「地域×教育（高校・大学連携）×劇場」のあり方を模索

しまね伝統芸能祭 2022 ～高校生神楽フェスティバル～

島根県は全国的にも有数の伝統芸能が盛んな地域であり、多彩な芸能・神事が数多く残され、住民の生活に根差しています。当館では、これまでに国内外の神楽を招聘した公演「ワールド神楽フェスティバル」や、地元芸能継承者と他分野のプロアーティストとのコラボレーション作品創作など、伝統芸能の持つ価値と芸術性を広く伝える事業を続けてきました。

令和4年度は、「神楽」を部活動（または同好会）として行っている島根県内の高等学校6校の共演事業を開催します。開催にあたっては、探究活動として月1回のオンライン会議を継続開催し、神楽の魅力を掘り下げます。本番では舞の披露に加えて、探究活動の成果発表を行います。

本事業の目的は大きく3つあります。1つは、神楽をテーマにした高校生同士の交流・横のつながり作りの場を提供することにより「島根県の伝統芸能を担う次世代の育成につなげること」、また各校の神楽の特色を掘り下げ、会場で【成果発表】と【舞】で披露することにより、「各地域における神楽の個性や地域性を知る機会を提供する」こと。最後に、事業を通じて、「他地域の高校生や様々な職種の大人と交流することにより、社会の多様性や島根県での将来の自分の役割に思いを馳せる機会を提供する」ことです。探究活動には島根県立大学地域政策学部の西嶋一泰講師にファシリテーターとして参加していただき、島根県の神楽を主題に「地域×教育（高校・大学連携）×劇場」の新しいあり方を模索します。

本番に向けて下記のとおりオンライン会議を予定しております。

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしく願いいたします。

記

催物名：しまね伝統芸能祭 2022 ～高校生神楽フェスティバル～

開催期日：2022年8月7日（日）開演 10:00／終演 17:00（予定）

会場：江津市総合市民センター ホール（島根県江津市江津町 1110-17）

出演団体：計6校（予定）

浜田商業高校（浜田市）、浜田養護学校（浜田市）、益田東高校（益田市）

邇摩高校（大田市）、江津高校（江津市）、矢上高校（邑南町）

入場料：無料・全席自由

座席数：702席（固定席 696席・身障者席 6席）

主催：島根県・公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）

後援（予定）：島根県教育委員会、石見観光振興協議会、公益財団法人江津市教育文化財団

グラントワ Grand Toit

オンライン会議の概要

テーマ：「神楽に興味のない同級生に神楽を好きになってもらうには？」

身近にいる顔の見える同級生をターゲットに、どう説明すれば、どんな体験があれば、神楽に興味を持ってもらえると思いますか？ 無理矢理興味を持たせるのではなく、なんとなく神楽に接してこなかった同級生 10 人のうち、2～3 人でもいいので神楽のことを「ちょっといいな」と自然に思ってくれる、そんな仕掛けを考えてみましょう。神楽というジャンルが、この島根の地でこれからも熱狂を集め、憧れられるものであるために今、自分たちができることを、同じ思いをもった高校生同士で考えてみましょう。

成果物：スライドショー作成、本番日に成果発表（10 分以内）および舞の披露（40 分以内）

ファシリテーター：島根県立大学 地域政策学部 講師 西嶋一泰

参加者：出演校から代表生徒 1～2 名、西嶋先生、グラントワ職員 計 9～16 名程度

（さらに必要に応じて、魅力化コーディネーター等の参加を想定しています）

使用ツール：ZOOM

オンライン会議 スケジュール

4 月 18 日（月） 17:00～18:30	第 1 回オンライン会議 ・グラントワから事業趣旨説明・西嶋先生を紹介 ・各校の自己紹介 ・舞いたい演目（40 分以内）の発表 ・テーマに対する各校の仮説を発表
5 月 16 日（月） 17:00～18:30	第 2 回オンライン会議 ・第 1 回の会議で発表した仮説に対し探究を深める。 （必要に応じて小グループに分かれたり、会議後にも LINE オープンチャットなどを利用して探究のサポートをします）
6 月 20 日（月） 17:00～18:30	第 3 回オンライン会議 ・同上
7 月 25 日（月） 17:00～18:30	第 4 回オンライン会議 ・同上および探究の成果発表
8 月 7 日（日） 10:00～17:00	本番 ・成果発表（10 分以内） ・舞の披露（40 分以内）

以上

本番に向けて上記のとおりオンライン会議を予定しております。

つきましては、ご多忙とは存じますが、ぜひオンライン会議にご参加いただき、取材及び報道方よろしくお願ひいたします。